

## 上田の六五会に出席 -喜寿記念同期会余話-

上原 昇（2組）

旧盆が過ぎても猛暑が続く今夏ですが、8月21日（木）、たまたま上田に帰省していただいたので、「六五会」8月例会（@「香青軒」）に出席してきました。同期有志による親睦会「六五会」は毎月21日に原則、上田市内で懇親会を開いています。

現在の会員は12名（私も名前だけ会員）ですが、同期であればどなたでも参加歓迎とのこと。地元在住者でなくても、帰省の折にでも、日程が合えば、顔を出してみることをお勧めします。

先月の喜寿記念同期会は六五会の皆さんが中心になって幹事団を結成し、大会を取り仕切ってくれました。同期会も無事終了、ホッとしたことあつてか、8月例会はいつもより少なめの以下の出席者でした。

当月幹事の吉田一雄君（1組）以下、島田甲子雄君（1）、小山壽一君（2）、丸山幸雄君（2）、布施修一郎君（6）、若林健君（9）、それに筆者の7名です。

当夜の話題の中心は大変盛り上がった同期会のことになりました。

関東から出席の筆者からは、こんなお願いをしてきました。

「全体として集まる同期会は喜寿で打ち止めということになったが、関東では関東在住者中心の小規模な同期会を毎年開催している。来年は高校卒業して60年という節目の年になるので、『卒後60年記念同期会』と銘打って、9月頃、都内で開催したい。折角の機会なので、六五会の皆さんには出席と同時に地元同期諸氏にも参加の声掛けをお願いしたい」  
元気なうちに、できるだけ多くの仲間と集まって話をする機会を作っていきたいものです。関東同期会の詳細が決まりましたら、本HPでも案内します。

布施君からは、9月20、21日二日にわたって上田しんきんイベントホールで開催される「忠固プロジェクト調査研究発表大会」についての紹介がありました。

これは老中松平忠固生糸貿易研究会（岩下哲典東洋大教授が会長）主催、布施君が会長を務める明倫会が共催で、「上田藩主にして徳川幕府老中松平忠固と上田藩の人びと」というテーマのもと、18名が研究成果を報告するというものです。

以下のURLは上記研究者による論文集です。

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784642043748>

島田君と小山君からは8月23日（土）に上田のサントミュージアム大ホールで行われる第28回上田城跡能についての話がありました。平成9（1997）年より続けてきました「上田城跡能」は今回をもって最終回となるとのこと。中心メンバーの島田君によると能に関心をもち

つ若い世代が少なく、活動をこれ以上続けることが無理とのことでした。

上田新能を観る会の会長を務めている小山君からも「何とか存続できないか検討したのだが・・・」と残念そうなコメントがありました。

以下、東信ジャーナルと信濃毎日新聞の関連記事URLを参照ください。

<https://tjournal.co.jp/news/post-29885/>

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2025082400035>

関東同窓会などでも、若手会員による後継者難が大きな課題となっています。

われわれ団塊世代引退後の各種（特にボランティア）組織の持続的運営については心配になりますが、若い人たちが上手に続けてくれることを祈っています。



前列左から小山、上原、丸山、後列左から吉田、島田、若林、布施

(2025年8月25日記)

以上